

20231206 話「積極的な見方をするならエホバに用いてもらえる」

([20]上手に話を締めくくる。塔研 21.05 18-19 ページ 17-20 節)

0. 私たちが宣教にいっそう熱心に与かるためにイエスに倣うのは良いこと

この点で、イエスが示された宣教に対する大切な見方とは何？倣うならどんな祝福に与？ご一緒に学

1. イエスが熱心に宣教を続けられたのはどうして？

[画像〇]それは、イエスがずっと積極的な見方を保たれたから。どんな見方を持って？

イエスは人々がどれほど真理を必要としているかを知っていた。できるだけ多くの人を助けていた。またイエスは、初めは関心がなくてもやがて聞くようになる人がいることも知っていた。

イエスの弟たちでさえ、イエスの宣教期間中、弟子にならず。でもイエスは諦めず[画像×]

2. イエスに倣い、私たちもどんな積極的な見方を持って伝道を続けるべきか？

誰がやがてエホバに仕えるようになるか、どれほどの時間が必要私たちには分からず(兎角続)

今は耳を傾けない人も私たちの熱心な行動見て、やがて「神をたたえる」ようになるかも忘れず

3. さらに、どんな大切なことも忘れてはならないか？

コリント第一 3:6, 7を読む。私たちも植えて水を注ぐ重要な役割果たすが、成長させるのは神

これは勿論私たちの活動が重要でないことを教えている訳ではない。

宣教は、沈んでいく船に乗っている人たちを助ける救助活動のよう。私たちがその一致した救助活動の大切な役割を果たすが、私たちを用いてくださったエホバに誉れが帰されるべき。

自分一人で特定の人を救助できたと言える人は誰もいないことを認めなければならない

実際に仲間がバプテスマを受けると会衆全体に喜びが溢れるように、一致した救助活動に関

わった全ての人がその祝福や喜びに与かることができる

4. では、今日学んだ宣教に対する積極的な見方とは何だったか？

①初めは関心がない人を含め、人々は本当に真理を必要としている

②私たちは誰がやがて神をたたえるようになるかを知らないので伝道を続けなければならぬ

③宣教による救助活動で誉れを受けるべきなのは成長させるエホバだけなので、特定の奉仕者に限らず、私たち全てがその祝福や喜びに与かれる—という正しい見方も学べた

こうした積極的な見方を保って宣教を熱心に続けるなら、エホバは私たちを用いてくださる

では私たち全ては引き続き積極的な見方を保ち、エホバの祝福と大きな喜びに与かっていく